

4. 事業内容及びスケジュール

(3の課題に取り組む上で、実施する事業及び具体的なスケジュールを記載してください。)

※ 実施する事業が、課題に対応していることを説明してください。

育児に興味があり、積極的にかかわりたい父親にむけ、手帳の配布だけでなく、講座を開催し、そこで地域の父親どうしのつながりをはかる。

育児になかなか関わる事ができずにいる父親にパパ手帳を配布し、きっかけをもってもらおう。

また、育児中の父親の様子や季節の情報など、手帳にのせきれなかった情報をパパ手帳通信として発行する。

(日程、場所、実施内容を具体的に記載してください。)

日程	具体的な取り組み	実施体制、対象者、場所など
春	イクメン講座（毎年、女性センターが開催）の中で1回ずつ講座を受け持ち、その時間内に手帳の普及のための時間も設ける 手作りおもちゃ講座 料理教室など 23 年度アンケートで希望の多かったものを取り入れる。 ・先輩パパを交えて、話をしてもらい、秋の講座にも参加してもらえるように働きかける。 ・他の父親の様子を直接知る。	場所・・・女性センター 対象・・・父親・母親 講師（おもちゃインストラクター 栄養士など） 先輩の父親
秋	イクメン講座 父親同士の話し合い、情報交換などの父親たちの仲間作りのキッカケを作る。手帳を実際に使ってみる。 春の受講者も含め、講座参加者に秋に行われるゆうまつどフェスタへ参加してもらえるようにする。(例：手作りおもちゃの展示、遊び方、作り方)	場所・・・女性センター 対象・・・父親 講師・・・先輩の父親 講座内容によって講師を決定する。
	手帳の増刷・配布	ボランティアスタッフ 22年度の印刷手順で行う。1,000部
	パパ手帳通信の作成・配布 内容には父親たちの意見を随時とり入れる。	ボランティアスタッフ 約4回発行
月1回	保健センターでおこなわれる、パパ・ママ学級で時間内か講座前後に約5	市内3ヶ所の保健センター プレパパ・プレママ

	～10分間、配布・手帳の使い方実例を説明する。	
施設開催中	子育て支援施設内に置いてもらい、依頼があればパパ・ママ学級で行うような説明をさせてもらう。モニターを依頼し、実際に手帳を使用したナマの感想を聞く	おやこDE広場（ゆうまつど） 市内3ヶ所の保健センター
	モニターを依頼し、実際に手帳を使用したナマの感想を聞く	乳幼児を持つ父親
秋頃	アンケート調査を行い、手帳について意見、感想を集め、次年度の活動へつなげる。	子どもを持つ父親・母親 子育て支援施設利用者・スタッフ

5. 事業に期待する成果

(事業を実施する上で、どれだけのことを達成したいのか。その目標を数値などで記載してください。)

興味のある父親

- ・イクメン講座参加者のつながりを作り、24年度はゆうまつどフェスタに参加してもらう。
春・秋受講者のなかから、希望者をつのる。
- ・手帳の増刷と広報・配布（1,000部）

講座まで参加できない父親

- ・保健センター3箇所での広報・配布につとめ父親の育児情報があることを伝える。
- ・通信を年4回作成し手帳プラスワンの存在として情報をのせる。
市内各所におく。1回、500枚。アンケートの結果などは通信に反映させる。

手帳の増刷と広報・配布（1,000部）

アンケートやモニターで、父親たちの育児サポートへの希望をききとり、今後へつなげる。

6. 協働の意義

(協働の必要性、協働で事業に取り組むことの効果、提案者や市のメリットなどを記載してください。)

※事業の実施、目標とした成果を挙げる上で、協働で取り組む必要があることを説明してください。

提案者

- ・当団体が目指している父親の子育てへの参加について、女性センターと協働することで、活動の機会や場が増える。
- また、単に手帳の配布にとどまらず、活用法の周知や意識向上を図ることもでき、父親の育児参加を推進することができる。
- ・手帳の信頼性や公共性を得ることができる。

担当課

・女性センターを拠点として「男女共同参画社会」を目指す様々な取り組みの中で、「男性の家庭生活への参画」を施策の一つと位置付けている。

さらに、子育て支援に携わっている提案者との協働をする事で、子育て世代の現状を捉え、ニーズや問題点を見出し、今後の対応などを共有しながら、同じ目標に向かって、それぞれの担う役割を果たすことで効率よく成果を導き出せる。その結果、松戸市男女共同参画プラン第3次実施計画の推進につながる。

7. 事業実施の役割分担

■ 提案者の役割

(提案者が行うことを具体的に記載してください。)

手帳の増刷

手帳を普及させるための広報活動

情報の収集

手帳に関するアンケートの実施

手帳配布と親の講座を実施し、親の仲間作りのきっかけ作りをおこなう。

■ 担当課の役割

(市が行うことを具体的に記載してください。)

手帳の信頼性と公共性

手帳を普及する場の提供や助言

男女共同参画の視点をもった情報の提供と助言

講座内容の助言

8. 将来の展開

(このモデル事業の成果をどう活かし、今後、事業展開していきたいのかを記載してください。)

※今年度提案する事業又は、モデル事業期間(3年を限度に申請が可能)に期待する成果を活かし、

今後、どのように事業展開していきたいのかを説明してください。

来年度に関しては、女性センターが毎年開催している、イクメン講座の一つを利用させていただき、『パパ手帳』の広報・普及に努め、受講者を中心とした父親の輪を広げていきたい。

その後については、手帳をツールとして、意識啓発や情報発信をし、父親が育児に参画していけるようにする。そして、父親同士がネットワークを作り、父親たちが自ら活動していけるように、今後も女性センターと協働していきたい。

(第6条関係)

事業の予算概要

【社会資源持ち寄り（収入）】

(単位：円)

提案者	(自己資金)	金額	積算内訳
		36,000円 5,000円	会員会費から3,000円×12人 賛助会員会費から1,000円×5人
	自己資金合計(a)	41,000円	
	労力換算額計(b)	186,000円	労力換算計算書のとおり
市	負担金申請額(c)	171,600円	
	資金合計額(d)(a+c)	212,600円	事業費(g)と同額

【負担金申請額(c)チェック項目】

1. 対象となる経費(e)欄の90%以内
2. 1事業あたり50万円以内
3. 自己資金(a)欄に労力換算額(b)欄を加えた額以下であること。

【事業費の積算(支出)】

	項目	金額	積算内訳
負担金の交付対象経費	講座講師料	10,000円	イクメン講座での講師料2回分
	手帳増刷代	144,000円	紙・印刷代(1,000部)
	パパ手帳通信・チラシ印刷代	10,000円	紙・製版代
	消耗品費	30,000円	事務用品(コピー・活動中に使用する事務用品等)
	対象となる経費合計額(e)	194,000円	
その他経費	スタッフ交通費	12,600円	1回300円42回分
	スタッフ飲食費用	2,000円	お茶代など
	スタッフ保険代	4,000円	

	その他経費合計額 (f)	18,600 円	
	事業費 (g) (e + f)	212,600 円	収入合計額 (d) と同額

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。

(単位：円)

労力換算計算書

(単位：円)

	項 目	換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間×回数×500円
	イクメン講座打ち合わせ	12,000円	2人×3時間×4回×500円
	ボランティアの会議	70,000円	7人×2時間×10回×500円
	スタッフ打ち合わせ会議	42,000円	3人×2時間×14回×500円
	広報活動	15,000円	2人×1時間×15回×500円
	反省会	7,000円	7人×2時間×1回×500円
	手帳印刷	40,000円	4人×4時間×5回×500円
	合計 (b)	186,000円	